

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	函館看護専門学校
設置者名	学校法人野又学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護科	夜・通信	99 単位	9 単位	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/20230619170155.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	函館看護専門学校
設置者名	学校法人野又学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/20230619153209.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人函館共愛 会 事務局長	令和4年5 月25日～令 和7年5月 24日	財務・経営
非常勤	北海道大学 名誉教授	令和4年5 月25日～令 和7年5月 24日	財務・経営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	函館看護専門学校
設置者名	学校法人野又学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年度、学習内容の確認・整理を行いシラバスの見直しを行い、学生により学習効果の高い授業を教授するのを目的として委員会を設けている。</p> <p>授業の方法及び内容、到達目標、成績評価などを見直し、冊子で学生に配布しているほかホームページにも公表。</p> <p>それに基づき、年2回以上開催する教育課程編成委員会において実習施設等の要望などの議論を行う。</p> <p>シラバスの作成には運営会議で承認後、教員に配布し見本に沿って作成を行い、外部講師に際しては、期限を記入した依頼書を作成したのち打ち合わせを実施。</p> <p>外部講師のシラバスの原稿は本校にあるフォーマットに外部講師の方がパソコンで直接入力するか、訂正した原稿を回収し職員が入力を行います。</p> <p>完成したシラバスは学生に配布しホームページにも公表している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/2023_看護シラバス.pdf
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>前期、後期の各1回、本校で開催する成績判定会議において各科目別欠席欠課表や成績表に基づき履修状況及び単位修得状況を把握している。</p> <p>特に科目別欠席欠課表では、欠課時間の多い学生(20時間以上)や、科目別出席率が80%未満の学生などに適切な対応を行うほか、成績表では再試験の多い学生や単位未修得の学生の修得状況も把握して、単位修得ならびに履修を認定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>単位修得の認定は、講義、実習等に必要な時間の修得状況と当該科目の評価により行う。客観的な指標として、出席時数が授業始終の80%未満の者は評価を受ける資格を失う。授業科目の評価は、S(90点以上)、A(80点～89点)、B(70点～79点)、C(60点～69点)、D(60点未満)とし、C以上を合格としており、学生に配布している学生便覧に記載及びホームページにも掲載しています。全記の成績の総合点を数値化しグラフ化にすることにより、学生の成績状況を把握し今後の改善の指針としホームページにも公表している。</p>	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/20230619170143.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の単位修得の認定を受けた学生について成績会議の議を経て、校長が卒業を認定しており、卒業を認定した者に対し卒業証書を授与する。このことについては、学生に配布している学生便覧に記載のほかホームページにて学生便覧を公表している。</p>	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/2023_看護_学生便覧.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	函館看護専門学校
設置者名	学校法人野又学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/20230619164535.pdf https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/20230619164613.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/20230619164535.pdf
財産目録	https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/20230619164535.pdf
事業報告書	https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/20230619164456.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/監査報告書.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	3,000 単位時間／ 113 単位	1364 単位 時間/単位	721 単位 時間/単位	885 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		119 人	0 人	10 人	83 人	93 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）学生により学習効果の高い授業を教授することを目的として委員会を設け、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価等を見直し、冊子で学生に配布しているほか、ホームページにも公表している。 それに基づいて、年2回以上開催する教育課程編成委員会において実習施設などの要望等、議論する。
成績評価の基準・方法
（概要）単位修得の認定は講義、実習などに必要な時間の取得状況と当該科目の評価委により行う。 客観的な指標として出席時数が授業時数の80%に達しない者は評価を受ける資格を失うことや授業科目の評価はS（90点以上）、A（80点～89点）、B（70点～79）、C（60点～69点）、D（60点未満）とし、C以上を合格としており、学生に配布している学生便覧に記載しているほか、ホームページにも学生便覧を公表している。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要) 授業科目の単位修得の認定を受けた学生について成績会議の議を経て、好調が卒業を認定しており、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 このことについては学生に配布している学生便覧に記載のほか、ホームページにて学生便覧を公表している。</p>
学修支援等
<p>(概要) 授業科目の単位修得の認定を受けた学生について成績会議の議を経て、好調が卒業を認定しており、卒業を認定した者に対し、卒業証書を授与する。 このことについては学生に配布している学生便覧に記載のほか、ホームページにて学生便覧を公表している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
28人 (100%)	1人 (3.5%)	27人 (96.5%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 毎年本校にて市内近郊の各病院から看護部長、事務長を招き合同就職説明会を開催。そのほか、就職に係る自己PRや言葉遣い、電話対応、身だしなみ、面接全般から履歴書、文面の書き方など作成した資料「就職活動にむけて」を学生に配布している			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 看護師国家試験 28名受験 23名合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34人	5人	14.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本校では、各科目別欠席欠課表や成績表に基づき履修状況及び単位修得状況を把握している。その中で欠課時間の多い学生や、再試験の多い学生、単位未修得の学生、さらに実習で悩んでいる学生等には個別に相談、指導を行う。場合によっては保護者とも話をしたり、面談を行うことで学生の近況を把握し、中退防止に努めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護科	200,000 円	800,000 円	120,000 円	※120,000 は実験実習費
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/20230619140229.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 年に一度、前年度の自己点検評価報告書に基づき、Ⅰ使命・目的等、Ⅱ教育活動、Ⅲ学生に関する事項、Ⅳ教員に関する事項、Ⅴ管理・運営・財政の項目について委員3名と学校側4名で学校関係者評価委員会を実施している。自己点検評価報告書に基づいて学校側から説明し委員から意見・評価を得て、結果について教務委員会で話し合い、実習や授業方法について具体的に改善していく。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
函館大学附属柏稜高等学校	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日 (2年間)	高等学校長
函館渡辺病院	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日 (2年間)	看護部長
函館市医師会病院	令和4年4月1日～ 令和6年3月31日 (2年間)	看護課長 (卒業生)
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.nurse.nomata.ac.jp/wp-content/uploads/2023/06/20230619152551.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.nurse.nomata.ac.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H101320200038
学校名	函館看護専門学校
設置者名	学校法人野又学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		19人	17人	31人
内訳	第Ⅰ区分	19人	17人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				31人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	0人		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	0人		
計	0人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	-人		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	-人		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。